

# 富山県民生涯学習カレッジ運営会議について

## 1 運営会議の概要

### (1) 設置目的

生涯学習カレッジの運営に関する基本的事項の調査研究

### (2) 審議事項

生涯学習カレッジの運営に関する基本的事項

### (3) 委員名簿（五十音順）

石澤 宣子（高岡第一学園幼稚園教諭・保育士養成所長）

奥野 達夫（南砺市福光美術館長、砺波地区センター運営会議会長）

尾山 敦子（県民カレッジ自遊塾県民教授）

金井 進（県生涯学習団体協議会会長）

黒田 卓（富山大学人間発達科学部教授）

佐藤 登（県経営者協会専務理事）

重原 達雄（公募委員）

竹内 洋子（県民カレッジ友の会「雷鳥会」運営委員）

立浪 勝（富山大学芸術文化部教授、高岡地区センター運営会議会長）

長堀 育子（県PTA連合会副会長）

中村 啓志（県公民館連合会事務局長）

原 洋子（県婦人会理事）

武藤 憲夫（富山短期大学幼児教育学科教授、新川地区センター運営会議会長）

結城 正斉（射水市教育長）

## 2 これまで開催した会議の概要

### ◎平成23年度富山県民生涯学習カレッジ運営会議

① 開催日時 平成24年2月23日（木）10:00～12:00

② 開催場所 富山県教育文化会館4階403号室

③ 議 題

#### 【報告事項】

(1)平成23年度事業について

#### 【協議事項】

(1) 平成24年度事業計画について

(2)今後の事業展開について

④ 会議資料

・平成23年度事業について

・平成24年度事業計画について

## 平成 23 年度富山県民生涯学習カレッジ運営会議 議事概要

1 日 時 平成 24 年 2 月 23 日 (木) 10:00～12:00

2 場 所 富山県教育文化会館 4 階 403 号室

3 議事等 内容は概ね以下のとおり

(学長挨拶)

今日は生涯学習事業を説明させていただき貴重な機会であり、地区センターの様子も含めた県民カレッジのあり方について、忌憚ないご意見をお願いしたい。

県民カレッジは、3つの視点で運営を考えている。まず、生涯学習の先導的な役割を担うことである。次年度、高志の国文学館が整備されるので連携した施策を進めていきたい。次に、県民のニーズに応えながら生涯学習のボトムアップを進めることで、学び合いの活性化を図りたい。生涯学習を推進する指導者の養成も引き続き行う。これからは富山地区センターの設置により、4地区から県民の学び合いを支えていくことになる。

(次長挨拶)

日頃から何かとお世話をいただき感謝申し上げます。ふるさと教育推進は3年目を迎えることとなった。県教育委員会では、雄峰高校に併設される富山地区センターの開所の準備を進めている。財政的にも厳しく、社会情勢の変化が進む中、これまでと違った県民カレッジのあり方が問われているように思う。いろいろな視点からご意見をいただき、参考にしていきたい。

事務局から出席委員及び事務局職員の紹介

金井会長の議事進行により事項協議、質疑応答

(会長)

平成 23 年度事業報告を事務局からお願いしたい。

(事務局)

説明

(会長)

引き続き、平成 24 年度事業計画の説明を事務局からお願いしたい。

(事務局)

説明

(会長)

事務局からの説明を踏まえて、意見や提言をいただきたい。

(委員)

新川地区センター運営会議より、

高校生とともに学ぶ特別講座の評価はとても高い。人気がない講座もあるが、続けて行くことが大事だ。

ふるさと発見講座や特別講座の実施曜日や時間帯について、受講者の意見もあり検討できないか。

(委員)

高岡地区センター運営会議より、  
講座の広報より、講座内容を重視すべきであり、受講者は学びたい講座を探している。  
受講後の受講者同士の交流や、講座に参画していくように図ることも大切ではないか。

(委員)

砺波地区センター運営会議より、  
特別講座について、共に学び合う姿は好ましいという声が多く聞かれる。  
講座を通して受講者を指導者として育てることや、人材を見いだしていくことも必要ではないか。  
県民カレッジが公民館活動と連携を深めており、とても良いことだと感じている。たとえば、映像センターの協力で地域住民がビデオ制作に携わり、地域のまとまりや活性化に貢献している事例があった。

(委員)

映像コンクールに中学生や高校生、地域住民による参加の広がりがありとても良い。  
特別講座について、いい意味でも悪い意味でも高校生と学ぶことは刺激になっているようだ。

(委員)

来年度から実施される新しい学習指導要領にビデオ制作が含まれ、重要な学習コンテンツになる。  
県民カレッジの映像ライブラリーはすばらしいものであるが、広く知られていないことがとても残念である。普及しにくい部分もあるが、ユーチューブ専用チャンネルを開くなり工夫が必要ではないか。  
指導者養成については、受講者を増やすためにも募集タイトル等を工夫すべき点がある。

(委員)

受講のすそ野を広げることも大切であるが、リピーターを重視して講座内容の充実化を図ってほしい。  
地域で地道に活動している方の話を聞くなど、講師となられる方はまだいるのではないか。  
夏季講座のように目玉になる講座は必要だと思う。

(委員)

受講者の口コミはとても有力であり、受講者の増加の良い方法である。

(委員)

開催曜日や時間帯の問題もあるが、若い世代やシニア世代が出やすくするため、講座を2つに分けることができないか。地域の回覧にチラシを入れることも考えられるであろう。卒業生にPRできないか。

(会長)

他の委員のご意見をお聞きしたい。

(委員)

単位取得を目標に20年間カレッジに関わってきた。以前は高岡でも夏季講座を行っていたので、呉東と呉西で隔年開催できないか。  
講座の実施曜日について、個人的には土日より平日開催がよい。

(事務局)

講座の時間帯については、夜間の授業がないなど各学校の事情もある。平日の受講は特別講座、土日の受講はふるさと発見講座というふうに棲み分けをしているところもある。

(会長)

富山地区センターについて、事務局より説明をいただきたい。

(事務局)

資料のように併設される。2つの学習室は開放可能となっており、多角的に活用できる。

(委員)

開所後、富山地区における講師の依頼はどうなるのか。

(事務局)

他の地区センターと同様になると思う。

(委員)

雷鳥会友の会事務局は本部にあり、4地区に支部がある。年に5回の会誌を発行している。今後とも活動を広げたいと考えているので、富山地区センター開所後もよろしくお願いしたい。

(委員)

核家族化が進み、お母さん方はとても忙しく、生涯学習に目が向けられないという実態がある。お母さん方が交流できる機会がもっとあれば良いと考えている。どんなに忙しい中でも、魅力ある企画があれば参加されるのではないかな。

(委員)

公民館活動はエリアで学ぶこと、生涯学習はテーマで学ぶこと。しかし、今は複合的な学びとなっており、魚津市や南砺市など先進的な取り組みも見られる。公民館ネットが整備され、とやま学遊ネットとの関係も親密化している。

2011学びピアでは、生涯学習の成果を生かしたこれからの地域づくり・社会づくりに向けたフォーラムが開催された。その中で、コミュニティ、ICT、ボランティア、エイジレスと言ったキーワードが挙げられていた。企業やNPOの参加も多く、関係機関及び関係団体間のネットワーク構築の必要性を感じた。

(会長)

いろいろ貴重なご意見、ご提言ありがとうございます。

(学長)

ご意見を参考に今後カレッジのあり方を検討したい。

短い時間であったが、内容は濃いものであった。重ねてお礼を申し上げる。

以上閉会。